



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

情報の恐ろしさを、改めて思い知らされた。

今回の相撲界の問題でもそうであるが、政治や経済にしても、隠している事柄が瞬間にして、ほとんど露呈してしまう時代になった。

コンピュータの発達により、ネットが誰にでも使えるからこそ、匿名で情報をいくらでも垂れ流す事ができる。

尖閣のビデオ、相撲の八百長メールなど、これからも様々な分野において情報が流れ出す事だろう。容易に地球の裏側の出来事が知ろうと思えば、いつでも知れる時代。

ほんの少し前までは、新聞やテレビがメインで情報を流していたが、今ではそれらのマスメディアも衰退し、個人による発信力の方が勝ってきている状態。

新聞やテレビによる情報操作は、もうすでに誰もが衆知の事であるが、これからは個人的な情報操作にしても、ある意味、我々は動かされる時代になってきたかも知れない。

それだからこそ、我々は一つ一つの情報も、ただ鵜呑みにするだけではなく、しっかりと意識して、どれが真実かどうかを見極めていかなければならないだろう。

また、考え方を変えてみれば、我々が平成武師道を世の中に伝える事には、非常に助かっている。ホームページによる武師道放送局や通信。

YouTubeによる3分間講演、ツイッターによるつぶやきなど。

これほど情報が充満し、操作、発信できる時代。

何がしたく、何を伝えたいか？

しっかりとした信念を持ち、守るべきものを守り、造るべきものを造る姿勢。

そこに誇りある正義があれば胸を張って伝える事ができる。

我々は臆する事なく、いろいろな方法で平成武師道を伝えていき、最終的には世界に発信し、誇りある日本の精神文化として、世界に認められ、政治経済にも手助けできるものにしていく所存である。

情報とは、心を欺けば最悪の敵となるが、真実、信念を貫くために使えば、最強の味方となるだろう。

これらをしっかりと肝に銘じて、これからも動き続けていこうではないか！

相撲取りさん、政治家さん、マスコミさん、その他情報操作している皆さん、しっかりと真実を伝えていきましょう。

押忍！



佐々木